

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		KTR野田川駅整備事業					
事業の概要		<p>本駅は日々多くの利用者があるにもかかわらず、駐輪場の数が不足していたり、隣接するサイクリングロードから直接駅内に入ることができない、など機能的な問題点が山積していた。 本事業により、これらの問題を解決することで利便性の向上を実現し、利用客数の増加や観光面でのPR強化につなげるものである。</p> <p><内容> 用地購入 自転車置場設置工事 駅舎塗装工事 看板設置工事 自転車置場外灯設置工事 他</p>					
	事業期間	平成19年度					
	総事業費	20,497	本年度事業費	20,497	交付金交付額	10,248	
事業評価	事業の必要性	本町の住民にとって非常に重要な足となっているKTR線を、より使いやすいものにするため、また、本町の玄関口となる本駅を魅力あるものにするため、真に求められているものを見極め適切に改善する必要がある。					
	事業の有効性	本事業により利用者の安全性が大幅に向上する。従来の利用形態を脱することで、利用者の危険性を減少させるものである。					
	事業の効率性	交通機関の整備は豊かなまちへの第一歩であり、本町唯一である本駅の利便性を向上させることは、駅の利用客の満足度を向上させるだけでなく、町全体の活性化につながるものである。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 本駅は学生の利用が多いにもかかわらず、多くの学生が利用するサイクリングロードからの乗り入れができないため、交通量の多い車道を通らざるを得なかった。今回の整備により、利便性と安全性の大幅な向上が実現できるものである。					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。